

2021. 4. 27 <計2枚>

報道関係者各位

学校法人立命館広報課

立命館学園 附属校教員の働き方改革、始動！
「ワーク・ライフ・バランス」を重視し、柔軟な働き方を実現
■自由で多様な教員の姿を動画で紹介■

学校法人立命館(以下、立命館)は、附属校(※)教員を対象に、「ワーク・ライフ・バランス」を重視し、創造的な教育展開を目指してさまざまな活動を行っています。このたび、春の専任教諭公募に合わせて、附属校教員の働き方改革の事例を紹介する動画“BE COLORFUL”が完成しましたので、ご案内いたします。



立命館 附属校教員の働き方 “BE COLORFUL”

URL : <https://youtu.be/SYHfjR7LAsY>

立命館では、多様な教職員が集まり、ダイバーシティ&インクルージョンを柱の一つとした組織を目指し、制度設計に取り組んでいます。その一つが、法人として大胆な制度改革などを盛り込んで進めている立命館版働き方改革です。

近年、長時間労働や部活動の負担など、「ブラック職場」とも言われる学校現場の改革や窮状を訴える教員への対策が急務とされています。文部科学省が公表した令和元年度(平成 30 年度実施)の公立学校教員採用選考試験の実施状況によると、小学校・中学校・高等学校すべての競争率が減少している状況です(※文部科学省ホームページより)。

そのような中、立命館では、健康増進とともに先進的で創造的な教育実践に持続的に挑戦していくことを目的に、2020 年 4 月から附属校教員の働き方改革に取り組んできました。動画では、実際にさまざまな制度や ICT 技術を活用し、柔軟で多様な働き方で生き活きとした教育実践を行う教員へインタビューを行い、ワーク・ライフ・バランスとともに教員としてのやりがいのどちらも求めながら、自身の最大限のポテンシャルを引き出す立命館の取り組みを紹介しています。

■動画で紹介している制度内容

①「働き方改革推進休暇(年間 250 時間)」の導入

事由を問わず取得できるワーク・ライフ・バランスのための休暇。

②チーム担任制

複数教員で複数クラスの担任をする制度。2020 年度より一部で開始。

③一人ひとりの業務の繁閑に応じた勤務カレンダーによる 1 年単位の變形労働時間制

1年単位の變形労働時間制(2021 年現在、所定労働時間年 1940 時間)を導入。

④勤怠アプリによる勤務時間管理で長時間労働の抑制へ。

WEB 上で始業・終業や休日取得が見える化

⑤クラブ活動指導員

専門技量および指導力量を持つ外部指導員が教員に代わりクラブ顧問業務を担う制度。

⑥スクールサポートスタッフ

教員の事務的作業等を軽減するためのスタッフ配置を開始。

■働き方改革を進める中で挙げられた教員の声

- ・休暇が取りやすくなった。
- ・教員と外部スタッフで役割分担ができ、児童・生徒の指導や教育に集中することができる。
- ・時間意識が高まった。
- ・教員室での会話が増えた。
- ・これまで慣習的にこなしていた仕事についても改善していく課題が浮かぶようになった。



立命館は、これからも、先進的で創造的な教育実践を行っていきけるよう、多様な教員がダイバーシティあふれる環境づくりを進めてまいります。

(※) 立命館小学校、立命館中学校・高等学校、立命館宇治中学校・高等学校

立命館慶祥中学校・高等学校、立命館守山中学校・高等学校

●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当:名和

TEL. 075-813-8300